News Release

平成 22 年 12 月 6 日

大阪科学・大学記者クラブ御中

公立大学法人大阪市立大学
法人運営本部広報担当課長
Tel:06-6605-3570

大阪市立大学創立 130 周年記念
「生誕 80 年　大阪が生んだ開高健展」を開催します

大阪市立大学は、創立 130 周年記念行事の一環として、平成 23 年 2 月 11 日から 10 日間「生誕 80 年　大阪が生んだ開高健展」をなんばパークスで開催します。

開高健は 1930（昭和 5）年に大阪に生まれ、1953（昭和 28）年に大阪市立大学法文学部を卒業しました。卒業後は寿屋（現サントリー）で斬新なコピーを量産する一方で創作活動にいそしみ、1958（昭和 33）年に『裸の王様』で第 38 回芥川賞を受賞しました。その後も、ルポやドキュメンタリー、釣り文学の書き手としても新しい地平を開き、『ベトナム戦記』『オーパ！』などの数々の名作を世に送り出しましたが、1989（平成元）年、食道がんのため、58 歳の若さでこの世を去りました。没後 20 年をきっかけに、今また開高文学の再評価の動きが活発になっています。

本年、本学卒業生である彼の生誕 80 年を迎えるのを機に、人間・開高健をはぐくみ、その作家精神を醸成させた「開高の大阪」に光を当てて、その業績を振り返ります。

大阪市立大学創立 130 周年記念「生誕 80 年　大阪が生んだ開高健」展　開催概要

1　会　期　　平成 23 年 2 月 11 日（金・祝）～平成 23 年 2 月 20 日（日）
　　午前 11 時～午後 8 時（最終日は午後 6 時閉場）

2　会　場　　なんばパークス・パークスホール（7 階）
　　大阪市浪速区難波中 2-10-70
　　南海電鉄「なんば駅」中央口・南口直結
　　地下鉄御堂筋線「なんば駅」より徒歩約 3 分
　　地下鉄千日前線「なんば駅」より徒歩約 8 分
　　地下鉄四つ橋線「なんば駅」より徒歩約 12 分

３　入場料　　一般・大学生３００円

（65 歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方、高校生以下は無料）

４　内　容　　(1)　オープニングセレモニー

平成 23 年 2 月 11 日（金・祝）　午前 10 時 30 分～11 時

(2)　開高健ゆかりの方によるギャラリートーク

平成 23 年 2 月 11 日（金・祝）午後 3 時

來田 仁成 氏（NPO 法人　釣り文化協会会長）

平成 23 年 2 月 13 日（日）午後 3 時

作花 済夫 氏（京都大学名誉教授・三重大学名誉教授）

＊開高健の旧制天王寺中学での同級生

※都合により、予定が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

(3)　展示約 200 点

草稿、書簡、書籍、写真、釣り具、実家模型、映像資料等

主　催　　大阪市立大学、大阪市立大学同窓会連絡会、大阪市立大学学友会、
開高健展実行委員会

後　援　　大阪市、大阪市教育委員会、ミナミまち育てネットワーク
NHK 大阪放送局、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、
日本経済新聞社　　(社)全日本釣り団体協議会、(財)日本釣振興会

協　賛　　サントリーホールディングス、ユニ・チャーム、大同生命保険、
南海電気鉄道、アートコーポレーション、阪和興業、オリックスグループ、
住友ベークライト、Panasonic、ダイセル化学工業、アシックス、
小野薬品工業、サラヤ、ツネミ、ピュア・フィッシング・ジャパン、
釣りビジョン、清風南海高校、大阪市大生協、
光文社、集英社、新潮社、筑摩書房、文藝春秋　ほか

協　力　　NPO 法人開高健記念会、県立神奈川近代文学館、大阪府立天王寺高校同窓会、
NPO 法人釣り文化協会、なんばパークス、たる出版

本件に関する問合せ先

公立大学法人大阪市立大学総務課広報担当（小澤・石井）

Tel:06-6605-3570



Osaka City University 130th
都市で学び 夢をつかむ

大阪市立大学創立130周年記念

生誕80年 大阪が生んだ

開高健展

Kaikō

2011年2月11日[金・祝]→20日[日]

※開場時間=午前11時～午後8時　※最終日は午後6時閉場（ご入場は閉場30分前まで）

大阪・難波 なんばパークス・パークスホール（7階）

入場料〈税込〉= 一般・大学生 300円　65歳以上・高校生以下無料

※「障害者手帳」をご提示の本人様と同伴者1名は無料

主 催=大阪市立大学　大阪市立大学同窓会連絡会　大阪市立大学学友会
開高健展実行委員会

後 援=大阪市　大阪市教育委員会　ミナミまち育てネットワーク　NHK大阪放送局　朝日新聞社
毎日新聞社　読売新聞社　産経新聞社　日本経済新聞社　（社）全日本釣り団体協議会
（財）日本釣振興会

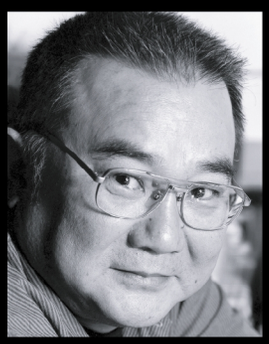
協 賛=サントリーホールディングス　ユニ・チャーム　大同生命保険　南海電気鉄道　アートコーポレーション
阪和興業　オリックスグループ　住友ベークライト　Panasonic　ダイセル化学工業　アシックス
小野薬品工業　サラヤ　ツネミ　ピュア・フィッシング・ジャパン　釣りビジョン　清風南海高校
大阪市大生協　光文社　集英社　新潮社　筑摩書房　文藝春秋 ほか

協 力=NPO法人開高健記念会　県立神奈川近代文学館　大阪府立天王寺高校同窓会
NPO法人釣り文化協会　なんばパークス　たる出版　（敬称略・順不同）

Osaka City University 130th
都市で学び 夢をつかむ

大阪市立大学創立130周年記念

生誕80年 大阪が生んだ 開高 Kaikō 健展



■大阪の地


「印象生活」


「市大文芸」


寿屋あて履歴書

結婚式記念写真

■浑身の文学


芥川賞記念の
ロンジンの懐中時計


「芥川賞授与式で」の写真


「裸の王様」草稿

「洋酒天国」

作家開高健は大阪に生まれ、旧制天王寺中学校、旧制大阪高等学校を経て、1953年（昭和28年）に大阪市立大学法文学部を卒業しました。太平洋戦争中の1943年、中学1年の12歳の時に父が病死して以後、一家を支えるためアルバイトに明け暮れしながらも読書に没頭し、創作と格闘しました。その文学的才能は、大学卒業後に就職した寿屋（現サントリー）では卓抜な宣伝コピーとして開花し、文芸誌「文學界」に発表した『裸の王様』で1958年2月、第38回芥川賞を受賞しました。後のノーベル賞作家大江健三郎氏を抑えての受賞でした。

開高健はあくなきバイタリティーで次々と活躍の場を広げました。ルポやドキュメンタリー、釣り文学の書き手としても新しい地平を切り開き、『ベトナム戦記』、『オーパ!』など数々の傑作を世に送り出しました。真実を見据えることに徹した彼の観察眼、人生観は、当時の若者にも大きな影響を与えました。

1989年（平成元年）、食道がんのため、開高健は58歳の若さで疾風怒濤の人生を終えました。没後20年をきっかけに、今また開高文学の再評価の動きが活発になっています。

大阪市立大学が創立130年の節目を迎えるのを機会に、卒業生としてただ一人の芥川賞作家である人間・開高健をはぐくみ、その作家精神を醸成させた「開高の大阪」に光を当てて、彼の業績を振り返ります。NPO法人開高健記念会が所蔵する資料を中心に、草稿、書簡、書籍、写真、釣り具、実家模型など約200点を展示します。

■行動する作家


「日本人の遊び場」

従事記者証

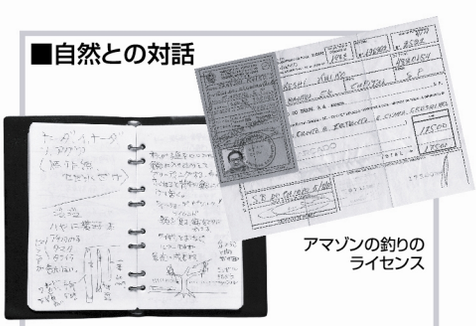

ベトナム従事軍の
ヘルメット

電話送稿録音テープ




ジッポのライター

■自然との対話


アマゾンの釣りの
ライセンス

「オーパ!」取材メモ




「モンゴルで
イトウを釣る」写真

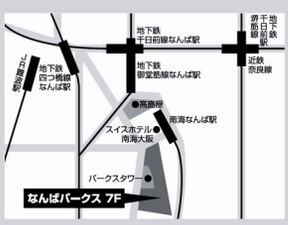
愛用の釣り竿

開高健ゆかりの方によるギャラリートーク開催

■2月11日(金・祝)午後3時　來田 仁成 氏　NPO法人 釣り文化協会会長

■2月13日(日)　午後3時　作花 済夫 氏　京都大学名誉教授(旧制天王寺中学校同級生)

※都合により、日程・講師が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



大阪・難波
なんばパークス・パークスホール（7階）

〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70

■電車のご利用
南海電鉄 「なんば駅」 中央口・南口直結
地下鉄御堂筋線 「なんば駅」より徒歩３分
地下鉄千日前線 「なんば駅」より徒歩約８分
地下鉄四つ橋線 「なんば駅」より徒歩約１２分

■お車のご利用
阪神高速 道頓堀出口 湊町出口から約１０分